報告

第2回「教師のための苦情・クレーム対応力向上セミナー」
＝　保護者との信頼関係構築策　＝

平成28年8月24日（水）
東京セミナー学院

今年は、昨年東京・大阪で開催したものを東京一本に絞りました。関西方面の方の参加を危惧しましたが、遠くは長崎、徳島、静岡、栃木、茨城と地域に関係なくご参加をいただき安堵した次第です。

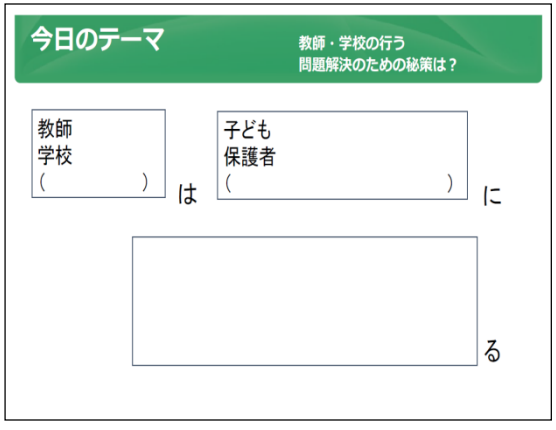
参加者は、小林教授のワークショップに戸惑いながらも、自らの希望で参加なさった方々です。やがて戸惑いも安心に変わる変化が事務局員にも伝わってまいりました。

野田教授は過去の体験事例を鋭い視点から法学的に演じていただきました。その時の会場は水を打ったような静けさでした。

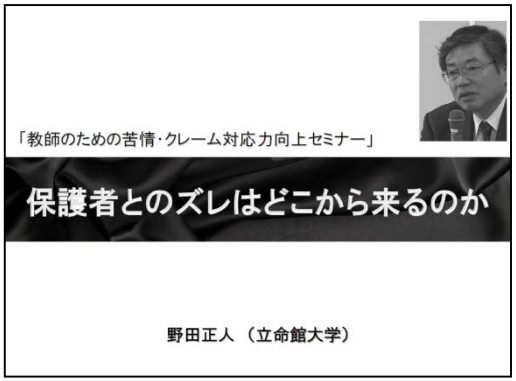
関根の「保護者対応」は、最新事例と拙著からの引用で、新たな知識とお持ち帰りいただけたようです。

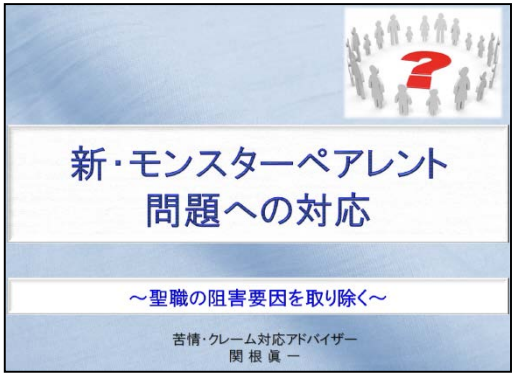
失敗もありました。それは、期日の設定と後援に頼ったことです。来年は新たな気持ちで「前進する教師」のために開催をします。奮ってのご参加を切望いたします。ありがとうございました。

小林正幸教授（東京学芸大学）講話とグループディスカッション　＝きめごとをするときの「あたりまえ」を壊す＝



野田正人教授（立命館大学）　＝　保護者とのズレはどこから来るのか　＝



関根眞一（苦情･クレーム対応アドバイザー）

＝　新･モンスターペアレント/問題への対応　＝